

ガバナー月信



月信 8月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② ガバナー補佐挨拶
- ③ 創立 20 周年記念式典を終えて
- ④ ローターアクト地区協議会報告
- ⑤ ローター財団学友会総会報告
- ⑥ インターアクト年次大会報告
- ⑦ 会員数報告
- ⑧ 地区主要行事予定 (8月・9月)
- ⑨ 新入会員紹介・訃報
- ⑩ コーディネーターニュース
- ⑪ ハイライトよねやま



国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度

高橋ガバナー事務所

〒950-8053
新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 ガバナー
高橋 秀樹 (新潟 RC)

第 2560 地区ロータリアンのみなさま、こんにちは。

去る 7 月 1 日、グランドプリンスホテル高輪にて、ガバナー・元・次期ガバナー懇談会が開催されましたが、そこで佐藤芳郎国際ロータリー理事（岡山南 RC）の御講演があり、国際ロータリー会長ジェニファー・ジョーンズ氏が特に重視していることや RI 理事会の様子などが紹介されました。以下、ポイントを列挙していく形になりますが、その内容をみなさまにお伝えしたいと思います。

先ず、ポリオ根絶についてですが、もうポリオは殆どなくなったという印象をもっている方もおられるかもしれませんが、野生株の感染者がいる限り、いつ感染が再拡大するかわかりません。最後まで根絶活動を貫くよう、要請がありました。

次に、ロータリーの 7 大重点分野が改めて強調されました。平和の推進、疾病との戦い、水と衛生、教育の支援、母子の健康、地域経済の発展、環境の保護であります。また、「災害支援」もこれらに準じるものとして重要です。

そして、国際ロータリー会長からの要請として、各地区で革新的クラブを 2 つ以上作ってほしいとの要請がありました。

クラブと地区においては、成長のための戦略を練り、ロータリーを発展させてほしいとのことでした。

ローターファミリー、即ち、ロータリアンとその家族だけでなく、米山奨学生や青少年交換学生、財団の奨学生、ローターアクター、インターアクター、そしてロータリーの奉仕に関わった地域の方々などとの交流を活性化させてほしいとの要請がありました。

この 2 年間で一気に普及した IT やバーチャルを更に活用してロータリー活動を推進してほしいとのお話がありました。

DEI (Diversity, Equity and Inclusion 多様性、公平さ、インクルージョン) が、今年度の国際ロータリー会長が特に重視する理念であることが改めて強調されました。

また、地域化 (regionalization) によってロータリーを発展させていくことが構想されている旨、紹介がありました。地域化とは、例えば日本とインドでは、ロータリー活動を行う上で、様々な社会的特性や前提が異なっているので、それぞれの地域に合った手法でそれぞれロータリーを発展させていくのがよい、という考え方です。

ゲイツ財団との契約が無事に継続されたことについても報告がありました。

最期に、国際ロータリー会長が10月24日のポリオデーを盛り上げることを大変重視していることが述べられました。クラブレベルでも地区レベルでもよいし、日程が多少ずれても構わないので、ロータリーがポリオ根絶に多大な貢献をしていることを地域社会に広報するイベントや、募金活動など、是非企画し実施してほしいとのことでした。

以上が、佐藤理事からお話があった内容でした。これから1年間の国際ロータリーの方向性を示すものかと思しますので、みなさまどうぞ念頭においてロータリー活動を構想して頂ければと思います。

なお、ポリオデーについてですが、私の考えとしては、ロータリーの奉仕活動は個々のロータリアンやクラブが主体になって行うものと思われしますので、当地区で一斉に実施してほしい具体的な内容をみなさまに求めることは考えておりません。国際ロータリー会長の意図を汲みつつ、それぞれ主体的に企画を立案・実施していただければ幸いです。どうぞよろしく申し上げます。





ガバナー補佐挨拶

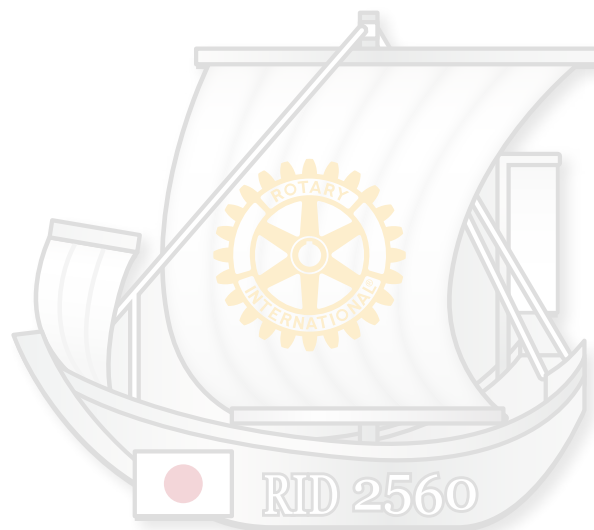
国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 第 1 分区ガバナー補佐
須貝 八栄 (中条 RC)

2560 地区第 1 分区高橋ガバナー年度ガバナー補佐を務めさせていただきます、中条ロータリークラブの須貝八栄です。何卒宜しくお願い致します。

高橋ガバナー年度がスタート致しました。過去 2 年間コロナ感染の中で、例会の時間短縮や休会などを余儀なくされ、各クラブは運営にご苦労されたこととっております。引継ぎ訪問で各クラブを一通りお邪魔させていただきましたが、クラブの実情に即したクラブ運営にご努力されておりますことに敬意を表したいと思います。コロナ感染も 3 回のワクチン接種をおおた終え下火になってきたかに思われましたが、新年度スタートまもなく新たな変異株に置き換わり、感染者が急拡大し、第 7 波に突入してしまいました。まだまだ予断を許さない状況下ではありますが、過去の経験値を生かしクラブ運営や活動に取り組んで頂きたいと願っております。

まさに、高橋年度のテーマ、「再生」へこたれない、「新生」進化する、「共生」助け合う を体現すべく時であると実感しております。アナログ人間の自分には進化することは困難な事ですが、へこたれずロータリアンの助けを頂きながら、自分に出来ることを精一杯努め、クラブと地区の繋ぎ役として職務を全うして行きたいと思っております。

各クラブの益々のご隆盛と会員皆様のご健勝をご祈念申し上げますと共に、何卒宜しくお願い申し上げます。





ガバナー補佐挨拶

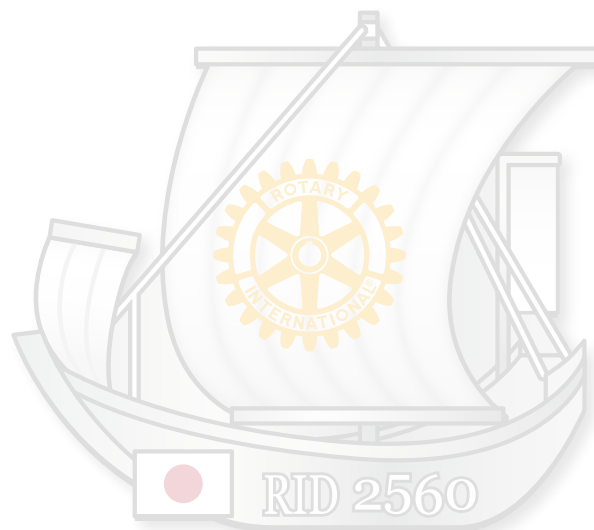
国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 第 2 分区ガバナー補佐
森田 順一 (新潟南 RC)

2022-23 年度 第 2 分区ガバナー補佐を勤めさせていただきます新潟南ロータリーの森田順一です。

今年度のジェニファー、ジョーンズ RI 会長の方針は「イマジンロータリー」世界に変化をもたらす大きな夢を描き、その実現の為にロータリーの力を地域社会に生かすのが方針です。

今年度 高橋ガバナーの方針は「再生 新生 共生」が方針です。コロナウイルスの影響もあり、各クラブでは色々な諸問題が生じ、解決しなければならぬ事が沢山あるかと思えます。健全なロータリー活動が出来るように早急に再生し、新しい事に挑戦し、自分のクラブだけではなく、クラブの枠を超えて、他クラブとの情報交換や他クラブ同士での共同クラブ活動など、クラブの交流で会員同士の総合的な交流を活発にし、クラブ間の情報を共有して健全な活動をする為の橋渡しをしたいと思っております。

少しでも高橋ガバナーの思いを皆様に伝えて行きたいと思っておりますので、微力ではございますが、ガバナー補佐として1年間宜しくお願い致します。





ガバナー補佐挨拶

国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 第 3 分区ガバナー補佐
室賀 信宏 (白根 RC)

本年度、第 3 分区ガバナー補佐を務めさせていただきます、白根ロータリークラブの室賀信宏です。一年間よろしくお願いいたします。

さて、第 3 分区では、昨年度をもって 60 年という長い歴史のある五泉ロータリークラブが解散、ということが起こりました。後になって判明したのですが、一昨年度より五泉クラブ内で解散という方向で進められていたようでした。昨年度の年度初めより会費を徴収せず、会費繰越金を使い切り一年間で計画的に解散の方向で動いていたようでした。我々第 3 分区では、2021-22 年度高尾ガバナー、山口ガバナー補佐を中心に新旧会長幹事会を招集し、数回にわたり五泉ロータリークラブ解散を何とか思いとどまっていただけのように話し合いを持ったのですが、解散を思いとどまることができませんでした。このことにより本年度、第 3 分区のクラブ数は 5 クラブ、メンバー数は約 90 名のスタートとなりました。2560 地区内で最小の分区です。喫緊の課題は会員拡大であります、各クラブの地域的な問題など、様々な要因がありなかなか進まないのが現状です。

本年度は最小の分区であっても高橋ガバナーの地区運営方針である「再生・新生・共生」のもと、「再生」第 3 分区はへこたれない、を念頭に置いて一致結束してまいりたいと考えます。第 3 分区では一昨年度より 2 年間、COVID-19 の感染拡大によりメンバー全員を対象とした IM を執り行うことができませんでしたが、本年度は何としても全員参加を目標とした IM を開催したいと思います。そのためには感染状況を鑑みながら日程の調整も必要となるかもしれませんが、関係各位の皆様のご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。分区内の各クラブでどのようなロータリー活動が行われているのかをよく把握し、連絡と親睦を密にしていきたいと考えております。また、このことを地区とも共有してまいります。このことは、運営方針「共生」2560 地区は助け合う、にもつながることでもあります。

ジェニファー・ジョーンズ RI 会長のテーマは「IMAGINE ROTARY」であります。分区内各クラブが、今までの活動経験をもとにし、想像 (IMAGINE) し、そして新たな活動が実りあるものとするため、ガバナーと共に協力していきたい所存です。

1 年間宜しくお願い申し上げます。



ガバナー補佐挨拶 新ガバナー補佐として

国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 第 4 分区ガバナー補佐
渡邊 喜彦 (巻 RC)

高橋秀樹ガバナー年度、第 4 分区ガバナー補佐を拝命しました、巻 RC 渡邊喜彦です。

COVID-19 の影響で、いままでのクラブ運営が思うように出ない時期がつづき、皆様もご苦労されていることと推察申し上げます。また、本年は加えてロシアのウクライナ侵攻という、この平和の世の中に考えられないアクシデントが世界を震撼とさせました。

そんな中での新年度スタートとなりました。

高橋年度スタートの最初の公式訪問が、田上あじさい RC さんで過日 7 月 12 日に開催して頂きました。直接のガバナーご出席の訪問で、緊張しながらの運営でしたが、皆様のご協力により、何とか無事終了し一安心したところでした。二回目が、7 月 14 日見附 RC の公式訪問でありましたが、二回目は、オンラインによる公式訪問で慣れない運営で見附さんにはいろいろご迷惑をお掛けしたのではないかと、帰宅して反省しております。しかし、二クラブ共に準備とお迎えや運営などに、大変な心配りをいただき素晴らしい公式訪問をさせて戴き感謝申し上げます。

今回二回の経験で、思うことは全 RC メンバーは、私も含めてお仕事をお持ちであり、重要なお立場、責任を担われている方々です。報告事項、相談、提出書類などご多用の中大変でしょうが、早めの提出、処置を是非心掛けていただきたいと思います。

原則として、それぞれのクラブの例会時間を基本として、計画をお願いしておりますが、中には夜例会に変更し、公式訪問を行われるクラブもあるようですので、特にそういう通常より時間の変更をされるご予約のクラブは、早めに私補佐を通して地区にガバナーへの申請、予定のお願いをよろしく申し上げます。

まとめとなりますが、ロータリークラブも今いろいろと従来の在り方や内容などを時代の変化に対応すべく、現状にあった運営をお考えのようです。また、すでに決定されて今までの運営より、運営しやすい形になりつつあります。私も、本年度は、第四分区内を一度は訪問し、公式訪問も必ず、私の補佐の杉山さんと一緒に伺いし、運営をインターネットに頼らず、直接訪問にて運営司会をさせていただきます。

どうぞ、皆様とともにロータリークラブのすばらしさを改めて見直し、われわれ現メンバーの一人お一人が自信をもって、新しいメンバーを勧誘し、活力あふれ、もっと社会に多に貢献できる真のロータリークラブを目指し、それぞれのクラブが本年一年間楽しくクラブ運営ができますよう祈念申し上げ私の挨拶とさせていただきます。



ガバナー補佐挨拶

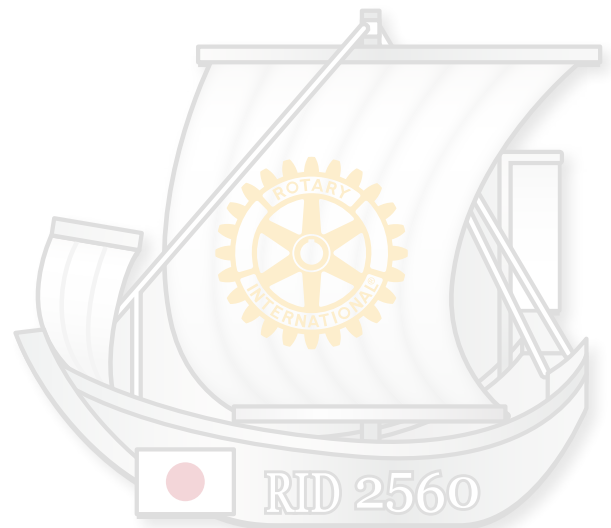
国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 第 5 分区ガバナー補佐
品田 孝行 (柏崎 RC)

本年度第 5 分区ガバナー補佐を拝命いたしました、柏崎 RC の品田孝行です。どうぞよろしくお願ひ致します。

COVID-19 が漸く収まりかけこれからロータリー活動も少しずつ元に戻るかに思いましたが、第 7 波が全国に押し寄せています。先の見えないコロナ禍に翻弄され、また紛争が始まり世界経済に悪影響を及ぼしているなかでの高橋年度のスタートです。

私が入会した 20 年位前は 50 数名の会員でした。当時は、各クラブとも活力ある元気なクラブばかりだったと記憶しております。昨今のコロナ禍や経済状況の中で例会活動の制約や会員の親睦もできず会員減少が進みなかなか元には戻りません。

本年度ジェニファー・ジョーンズ RI 会長のテーマは「イマジン ロータリー」、そして高橋ガバナー地区運営方針は、「再生、新生、共生」です。本年度のテーマ、地区運営方針はタイムリーではないかと思っております。「創造し、へこたれない、進化する、助け合う」の下このテーマ方針に向け目標に何処まで達成協力できるか不安ではありますが、皆様のご指導やご協力をいただきながら進めてまいりたいと思っております。至らない点多々あると思っておりますが宜しくお願ひ致します。





ガバナー補佐挨拶

国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 第 6 分区ガバナー補佐
富山 洋 (雪国魚沼 RC)

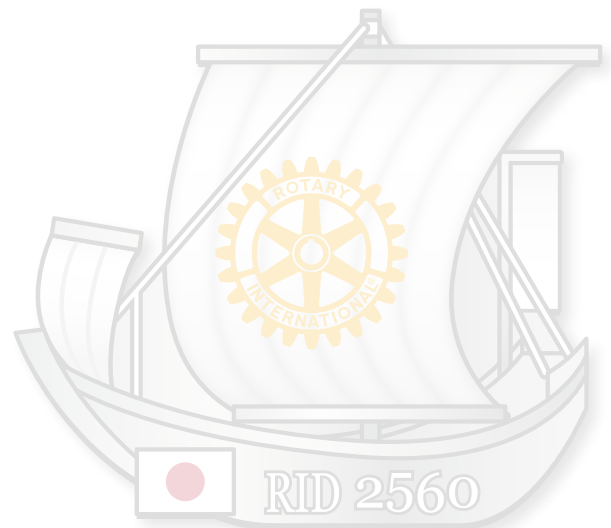
今年度第 6 分区ガバナー補佐を拝命しました雪国魚沼 RC 富山 洋です。入会は 2002 年で 1961 年生まれです。高橋秀樹ガバナーの運営方針である「再生・新生・共生」を分区内の各会員へお伝えすること、特に私は「共生」に注力したいと考えております。

「お隣のクラブなのによく知らない」ということがないように情報共有やコミュニケーションの向上を図ることが役目だと思っています。

変化を受け入れる寛容性を持ちながらもロータリーの理念を忘れず、職業倫理をしっかりと持ち日々の仕事に臨むことが基本であり、それを継続することがロータリークラブの意義であると考えております。

ロータリアンは地域では必要不可欠な方々ばかりです。

その方たちにとって居心地の良いクラブとなるよう努めてまいりますので、一年間よろしくお願いいたします。





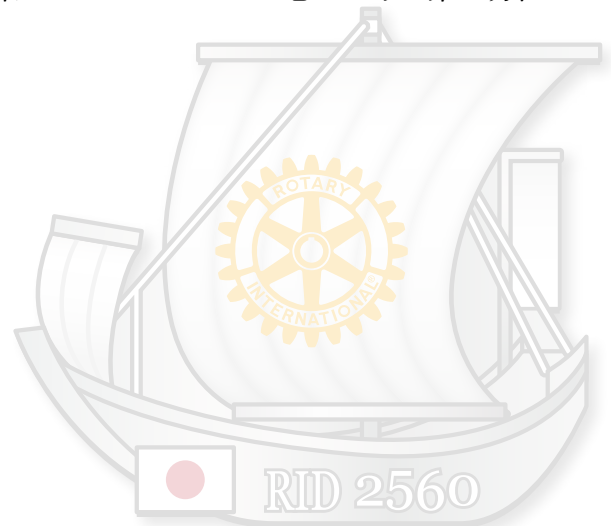
ガバナー補佐挨拶

国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 第 7 分区ガバナー補佐
本山 秀樹 (高田 RC)

国際ロータリー第 2560 地区の第 7 分区ガバナー補佐を務めます高田 RC の本山秀樹です。第 7 分区は、上越、妙高、糸魚川 3 市 7 クラブからなり、会員数 300 名余りの歴史と自然豊かなエリアです。ガバナー補佐の役割はガバナーを支援し担当するクラブをサポートする事でガバナー方針、地区目標を達成する事だと思います。ジェニファー・ジョーンズ RI 会長は、会長テーマ「イマジン ロータリー」を提唱し、世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かすよう呼びかけました。そして、高橋ガバナーは地区運営方針として「再生・新生・共生」とし、第 2560 地区は COVID-19 ではへこたれず、進化し助け合う地区を目指そうとしています。高橋ガバナーを支えつつ「超我の奉仕」と「最も奉仕する者 最も報われる」のロータリーの基本に帰り、奉仕とロータリーの友情のもと、地区と第 7 分区各クラブとのパイプ役となり一年間ガバナー補佐の職務を務めますので宜しくお願いします。

さて、このガバナー月信が発行される前に第 7 分区最初のガバナー公式訪問が 7 月 13 日オンライン形式で新井妙高 RC で行われ、15 日には高橋ガバナーと山田地区幹事からリアルで高田 RC を公式訪問して頂きました。短い時間でしたが、COVID-19 の感染拡大の中、高橋ガバナーから直接ご指導頂き感動しました。会員一同感謝申し上げます。

第 7 分区では、IM、IM 記念ゴルフ大会とも高田 RC を主幹に着々と準備と進めています。COVID-19 にへこたれず分区内の親睦と絆を確かめる楽しい IM にしたいと思います。第 7 分区ロータリアンのご協力、ご支援をお願いいたします。





創立 20 周年記念式典を終えて

柏崎中央ロータリークラブ
2021-22 年度会長
木村 あゆみ

ロータリーにとって年度末の最後の土曜日、6月25日に当クラブの創立20周年記念式典・祝賀会を挙行いたしました。当初、4月に予定しておりましたが、蔓延防止措置の延長により延期を余儀なくされ、実行委員会が中心となり話し合いを重ねた結果、皆様にとりましては大変お忙しい時期になりましたが、年度末に挙行することに決定いたしました。

時間のない中の案内状の発送、登録のお申込み、皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、そんな状況下でも、多くのご来賓の皆様、ロータリアンの皆様、総勢150名のご臨席を賜り、大変盛り上げていただきましたことに感謝申し上げます。

当クラブは10周年の記念式典を予定しておりました時に、東日本大震災が起こり、中止となっております。ですので、今回が初めて、2560地区全クラブにご案内を差し上げての開催でした。本当に遠方からも多くのロータリアンの方々にお越しいただけたことはメンバー一同大変感激しております。

祝賀会までできましたのも、地区大会でのRI会長歓迎晩餐会や、第5分区IMが通常通り行われたことがとても励みとなりました。皆様も、待ちに待った親睦交流だった様子で、とても楽しんでお帰りになって頂いた様です。

これを機に、ロータリーの行事、交流が通常とおりに戻りますことを祈念しております。

最後になりますが、ご参加いただきました皆様、大変ありがとうございました。

これからも、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げ、ご報告といたします。





ローターアクト地区協議会のご報告

2021-22 年度ローターアクト委員会
委員 相場 弘介 (三条 RC)

去る6月5日に2021-22年度地区ローターアクト古澤代表、2022-23年度地区ローターアクト田巻代表エレクトのもとローターアクト地区協議会が開催されました。今回もCOVID-19に大事を取りオンラインでの開催でしたが、来賓を含めロータリアン10名、ローターアクター20名と多くのご参加をいただき、次年度に向け非常に有意義な協議会となりました。

まず田巻代表エレクトの開会宣言から古澤代表の点鐘により開会され開会式の後研修に入りました。

そして研修Aとして「クラブ運営を振り返ろう」というテーマでロータリアン、ローターアクター共にセッションに分かれグループディスカッションを行いました。振り返りとともに現状認識を高め隠れた問題点や課題を抽出しグループごとに発表を行いました。やはりここ数年の活動自粛の影響が大きく、「コミュニケーション不足」や「アクトの意義が見出し難い・発信し難い」というような意見が多くあがりました。

休憩を挟んだ後、研修Bとして「例会・行事を企画しよう」をテーマに、研修Aで抽出した問題点や課題を克服するような例会や行事を（ここでは実現性はともかく）とにかくしっかり企画しようという話し合いを行いました。

その後研修Aと同じようにグループごとに発表を行いました。ここでは本当に楽しみながら奉仕活動に繋がられるような素晴らしい事業計画が沢山発表されました。この内容につきましては、田巻代表エレクトから「2022-23年度の地区行事の参考にさせてもらう」とのお言葉もありましたのでローターアクト地区行事まで楽しみにお待ちください。

コロナ禍と言われてから既に3年が経過しましたが、その制約やストレスを逆に明るく力に変え次年度への期待感やアフターコロナへの高揚感を感じさせられる、まさにローターアクターの地区協議会だったように思います。

この様な明るく前向きなローターアクト活動に、引き続きのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



ロータリー財団 学友会総会 報告

2021-22 年度 ロータリー財団委員会

奨学金・学友会・VTT 委員会

委員長 **村上揚一郎** (長岡西 RC)

6月19日(日)にホテルイタリア軒にて、2021-22年度のロータリー財団学友会総会を3年ぶりに学友、ロータリアン総勢25名参加のもと開催させていただきました。

当日は高尾ガバナー、高橋ガバナーエレクトからもご参加いただき、ご挨拶を頂戴いたしました。また、7名の学友から会場に参加いただき、4名の学友からZOOM参加というハイブリット形式での開催となりました。

議事では高橋学友会会長からこれまでの経緯などの説明があり、スムーズに終了し懇親会となりました。

懇親会では参加の学友から近況報告をいただき、また、不参加ではありますが、29名の学友から文書で近況報告をいただいていたので、参加の皆様配布させていただきました。学友の皆様が世界・日本の各地で活躍されているお話が見聞きでき、大変うれしく思いました。

3年ぶりの開催ということで我々も勝手がわからず、当日は参加の皆様をご不快にさせたかもしれませんが、次年度の開催ではスムーズかつより多くの学友に参加いただけるよう次年度の小委員長へ引き継いでいきたいと思っております。





少しずつ前進する インターアクト年次大会

2022-23 年度 新潟ロータリークラブ
インターアクト委員会

委員長 **大澤 強**

7月16日(土)第2560地区のインターアクト年次大会が行われました。パンデミックから3年目、各校へインターアクトが集まり、リモートでつなぐバーチャルキャンパス方式で行われました。

ホストは新潟ロータリークラブ、スポンサーとなっている新潟明訓高校をメイン会場とし、東京学館・新発田中央・村松・敬和学園高校をそれぞれサブ会場として5校の学生計36名が参加。また、多くのロータリアンからもリモート参加いただきました。

インターアクト年次大会としては、初めてのリモート開催でもあり、通信環境など小さな課題はありましたが、高橋秀樹ガバナーからメイン会場にて挨拶をいただき開催。

大会テーマは新潟大学 人文社会・教育学科 村山敏夫准教授から、SDGs から「ずっと住みたい街にするために私たちにできること、高校生が考える持続可能な地域づくり」をテーマに講義。村山先生がファシリテーターとなり、各校のインターアクト（以下IA）毎に、グループワークを実施しました。各校のIAのグループワークは、新潟大学の学生より現地にてサポート頂きました。

IAとして活動している学生ですが、これからの地域、新潟への将来の夢も含み、「人口を増やす環境」や、「交通システムがもっと便利に安価に利用できるには」など、新潟県の課題でもあるテーマで発表したグループもあり、夢を実現するためにどうしたらいいか、を考えるIAに頼もしさをも感じたところです。

IAが、感染に気をつけながら活動ができるようロータリアンとしてサポートしていきたいと思えます。

(大会企画：佐藤隆夫地区インターアクト委員長)



新潟明訓高等学校 (7月16日)

第 2560 地区 2021-22 年度 6 月末 会員数報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2021年 7月1日	6月末 会員数	うち女性	増減
第1分区 (9クラブ)		-	372	372	34	0
新発田	4	30.7%	93	88	0	-5
村上	4	17.9%	38	38	9	0
水原	4	21.9%	32	33	1	1
中条	4	97.7%	41	44	3	3
新発田城南	4	21.1%	40	38	3	-2
豊栄	3	13.0%	20	23	2	3
新発田中央	5	4.4%	44	45	4	1
中条胎内	3	52.8%	36	36	7	0
村上岩船	3	22.2%	28	27	5	-1
第2分区 (9クラブ)		-	433	426	28	-7
新潟	4	27.8%	82	79	2	-3
新潟東	4	17.5%	62	63	8	1
新潟南	5	32.4%	105	108	4	3
佐渡	3	80.0%	6	5	0	-1
新潟西	3	50.0%	39	38	2	-1
佐渡南	2	12.8%	40	38	4	-2
新潟北	4	28.6%	37	35	1	-2
新潟中央	4	38.9%	21	18	0	-3
新潟万代	4	52.4%	41	42	7	1
第3分区 (6クラブ)		-	97	89	5	-8
新津	4	11.1%	17	18	1	1
村松	4	60.0%	12	10	0	-2
五泉	5	0.0%	11	0	0	-11
白根	5	30.0%	29	30	1	1
新津中央	4	30.8%	22	26	3	4
阿賀野川ライン	4	0.0%	6	5	0	-1
第4分区 (11クラブ)		-	366	350	25	-16
三条	3	10.9%	56	55	0	-1
燕	4	9.1%	34	33	2	-1
加茂	5	6.3%	33	32	5	-1
三条南	3	17.1%	44	35	1	-9
分水	4	79.3%	29	29	4	0
見附	4	4.8%	21	21	1	0
吉田	4	3.6%	28	28	3	0
三条北	4	9.1%	58	54	2	-4
巻	3	0.0%	25	25	3	0
田上あじさい	4	14.3%	7	6	1	-1
三条東	4	6.3%	31	32	3	1

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2021年 7月1日	6月末 会員数	うち女性	増減
第5分区 (7クラブ)		-	296	288	25	-8
長岡	4	77.3%	45	44	3	-1
柏崎	3	2.5%	41	40	0	-1
長岡東	3	26.9%	52	52	4	0
柏崎東	3	18.6%	45	43	3	-2
栃尾	4	12.5%	25	21	0	-4
長岡西	4	20.4%	50	49	3	-1
柏崎中央	3	23.1%	38	39	12	1
第6分区 (6クラブ)		-	122	116	12	-6
十日町	3	29.0%	32	31	4	-1
小千谷	5	10.7%	30	28	4	-2
雪国魚沼	5	20.0%	20	25	3	5
十日町北	3	0.0%	18	14	0	-4
津南	4	18.8%	16	12	1	-4
越後魚沼	4	16.7%	6	6	0	0
第7分区 (7クラブ)		-	312	314	22	2
高田	4	34.3%	72	70	4	-2
直江津	4	29.6%	69	73	6	4
新井妙高	5	11.4%	31	35	1	4
糸魚川	5	69.8%	41	41	3	0
高田東	4	68.6%	36	35	3	-1
糸魚川中央	4	55.6%	28	27	0	-1
越後春日山	5	93.9%	35	33	5	-2

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,998 人
6月末会員数	1,955 人
女性会員数	151 人
純増減会員数	-43 人
My Rotary アカウント登録率	28.3 %

※2021.10 月末からの訂正

2021.10 月末日会員数

小千谷 RC 【28 名(うち女性 3 名)⇒ 28 名(うち女性 4 名)】

※4 月末からの訂正

4 月末日会員数

新潟北 RC 【37 名(うち女性 0 名)⇒ 37 名(うち女性 1 名)】

※五泉 RC は 6 月末で解散 (RI 脱会) しました。

地区主要行事予定

2022年7月20日現在

年	月	日	行 事	会 場	
2022年 (R4) 高橋年度	8月	会員増強・新クラブ結成推進月間			
		5	(金)	大学担当者向け米山制度説明会	ホテルオークラ新潟
		6	(土)	ロータリー財団地区資金監査	万代シルバーホテル
		20	(土)	国際奉仕フォーラムディスカッション	ANAクラウンプラザホテル新潟
		27	(土)	第1回地区ロータリー財団セミナー	ANAクラウンプラザホテル新潟
		28	(日)	米山カウンセラーセミナー	
		28	(日)	米山奨学生研修会	
	28~29	(日~月)	米山記念奨学生親睦交流会 RIJYEM総会 防減災セミナー		
	9月	基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間			
		3	(土)	第5分区分IM (品田G補佐・柏崎)	市民プラザ
		5~6	(月~火)	ガバナーエレクト研修セミナー (GETS)	グランドプリンスホテル新高輪
		7	(水)	次年度の地区研修リーダーのためのセミナー (DTLS)	グランドプリンスホテル新高輪
		10	(土)	第4分区分IM (渡邊G補佐・巻) →来年4/15に延期	ホテル富士屋
		11	(日)	米山ガバナーエレクト事務所開所式	餞心亭おゝ乃
27		(火)	高橋年度 地区大会記念親睦ゴルフ大会 アクトの日	紫雲ゴルフ倶楽部	

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
三条北	吉川 将人	2022.03.15	オフィスキッカワ	代表	情報処理サービス
新潟	小林 慶直	2022.05.24	宗教法人 白山神社	宮司	神道
新潟	佐藤 明	2022.05.31	(株)新潟日報社	代表取締役社長	新聞発行
三条北	安藤 幸	2022.06.07	(株)R.C保険新潟	代表取締役	保険業
三条北	白倉 猛	2022.06.07	第一コンピュータ印刷(株)	代表取締役	広告代理業・印刷業・グラフィックデザイン
村上岩船	大島 健司	2022.06.13	(株)やよい	代表取締役	バー
新潟	小林 俊	2022.06.14	日本銀行	新潟支店長	中央銀行
燕	丸山 光博	2022.06.15	(株)丸山組	代表取締役社長	建設業
長岡西	須田 成仁	2022.06.16	(株)アル	代表取締役社長	建設機械レンタル業
新発田	皆川 倫彬	2022.06.20	(株)皆徳	代表取締役	事務機器販売
直江津	井木 尚武	2022.06.21	フランスウェルネス(株)	代表取締役	小売業
直江津	二村 康隆	2022.06.27	(株)八十二銀行直江津支店	支店長	銀行業
水原	上松 昭浩	2022.06.29	株式会社ライズビルド	代表取締役	総合建設業
直江津	柿木 繁男	2022.07.01	平安セレモニー(株)	取締役社長室長	冠婚葬祭業
高田	釜田 英一	2022.07.01	(福)上越福祉会	理事長	社会福祉
村上岩船	室橋 幸子	2022.07.04	elfエルフ	代表	スナックバー
新潟	小山 章司	2022.07.05	(株)テレビ新潟放送網	代表取締役社長	商業放送
中条	小野 正義	2022.07.06	司法書士 小野事務所	代表	司法書士
中条	金城 勝則	2022.07.06	(株)日本海カントリー	代表取締役	ゴルフ場
三条	嘉瀬 一洋	2022.07.06	(株)エフピーエム	代表取締役	保険
三条	重山 直明	2022.07.06	(株)ユアテック県央営業所	所長	建設業
高田	山本 陽	2022.07.08	東北電力ネットワーク(株)上越電力センター	所長	電気事業
新発田	倉田 亮	2022.07.11	(株)第四北越銀行 新発田支店	支店長	地方銀行
長岡	佐田 直人	2022.07.12	新潟県醤油協業組合	理事長	醤油調味料製造販売
新潟	榎本 隆克	2022.07.12	東北電力(株)	執行役員新潟支店長	電力供給
中条	船山 博貴	2022.07.13	(株)会津屋	代表取締役	葬祭業
燕	蔵品 尚紀	2022.07.14	(株)アイサポート	取締役副社長	Webサイト制作
燕	丸山 大輔	2022.07.14	(株)丸山技研	代表取締役社長	金属ハウスウエア企画販売
新潟	江越 誠	2022.07.19	岡三にいがた証券(株)	代表取締役会長兼社長	証券業

【訃報】

(敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
白根	安達 公明	2022.06.20	安達建設工業株式会社	代表取締役	総合建設業	



戦略計画立案のワークショップをやってみましょう



第3地域 ロータリーコーディネーター 滝澤 功治 (神戸須磨 RC)

ロータリーを進めていくには戦略計画が重要です。全世界で 200 を超える国・地域に展開するロータリーは異なる価値観を持つ多様な人々によって構成されています。このようなロータリーの今後の進むべき道筋を示すのがロータリーの戦略計画（行動計画）です。現在のロータリーの戦略計画は「行動計画」として4つの優先事項（①より大きなインパクトをもたらす、②参加者の基盤を広げる、③参加者の積極なかかわりを促す、④適応力を高める）が示されています。

2022年6月26日、第2730地区（鹿児島・宮崎）において、井福直前ガバナーの強いリーダーシップの下、クラブ活性化セミナーが開催されました。地区内から150人を超えるガバナー補佐や各クラブのリーダーが集まり、実際にクラブの戦略計画を作る「戦略計画ワークショップ」が行われました。今回のワークショップは、RIの「戦略計画立案ガイド」に沿って進められました。具体的な手順は次のとおりです。まずは「クラブの健康チェック」でクラブの現状（クラブの強みと弱み）を把握します。次いで「元気なクラブづくりのために／クラブリーダーシッププラン」や「会員の満足度アンケート」で会員のクラブに対する満足度や不満に感じていることを把握し、その結果をもとにクラブの「戦略的課題」は何かを確認します。そしてそのような課題を解決する具体的方法（道筋）を考えることによって、クラブの戦略計画が完成します（以上の資料はすべて My ROTARY に戦略計画のリソースとしてアップされていますので、これを予めダウンロードして使用します）。第2730地区のワークショップでは、クラブリーダーらがそれぞれのクラブの抱える課題について終始熱心に議論しながら戦略計画の立案に取り組み、素晴らしい成果を挙げました。

終了後、「戦略計画」という名称についての質問がありました。この名称に違和感を覚えるということであれば、かつて使用していた「長期計画」でもよいし、「未来計画」でもよいと思います。大切なことはクラブの現状を把握し、課題を確認してその解決の方向性を示すことです。そして、クラブやそれを取り巻く地域の変化に応じて柔軟に修正することも重要です。

戦略計画を立て、それに沿って行動している地区とクラブは、戦略計画がない地区とクラブよりも柔軟に変化に対応できることが分かっています。また、戦略計画を立案すれば、現状分析を行い、課題を克服して目標達成に向けて長期的に取り組むことが可能となります。さらに、リーダーが年度ごとに交代しても、一貫性をもって地区とクラブを発展させることができます。

あなたのクラブは戦略計画（行動計画）を作っていますか。



ロータリーの公共イメージの重要性について



第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 丸尾 研一(神戸西神 RC)

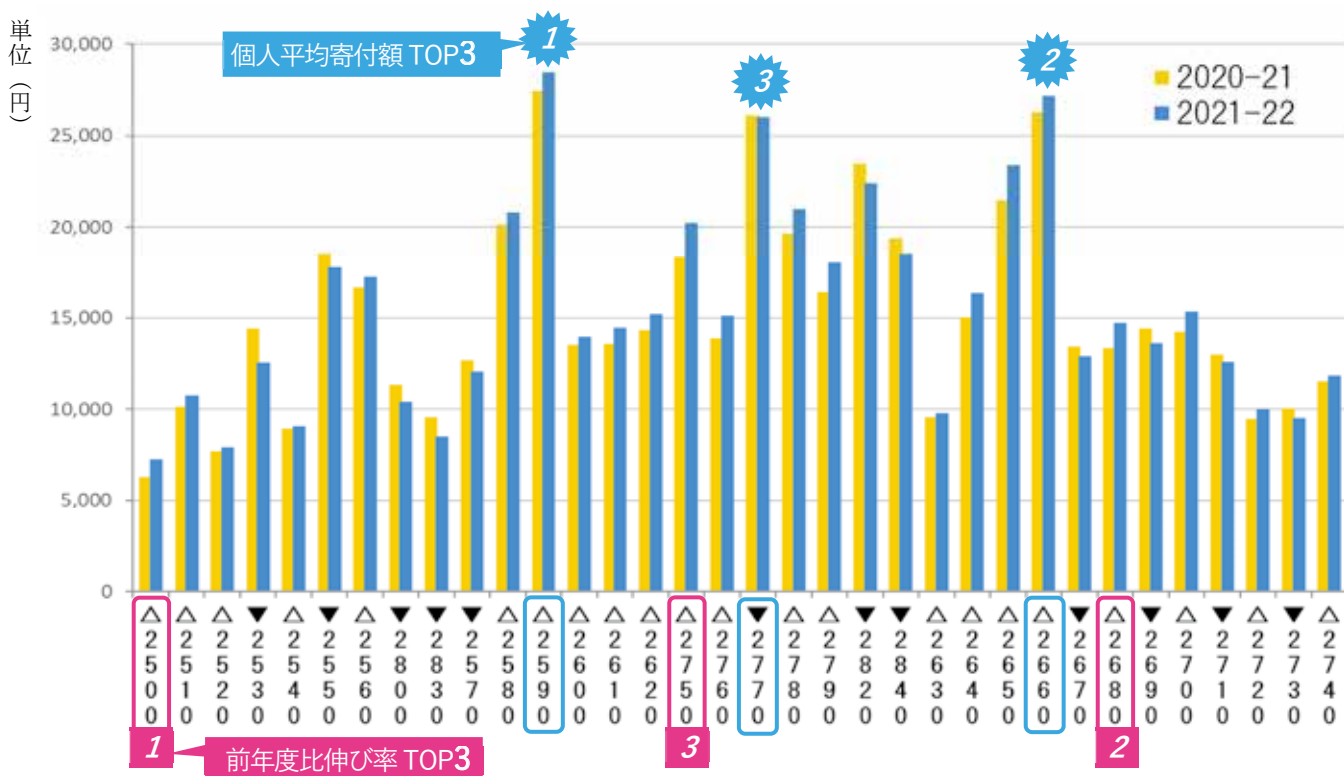
RIは戦略計画の中に「参加者の基盤を広げる」がありますが、まずはロータリーの認知度を高めなくてはならないと思いますがウルトラCはない。先ず一人ひとりのロータリアンがロータリーの会合に行くときだけではなく、いつもロータリーバッジを身に着ける、奉仕活動、イベント等でロータリーグッズ（ポロシャツ等）を身に着ける、車にポリオのステッカーを貼る、ちなみに私の車にはポリオステッカーを貼っていますが、なかなか格好いいですよ、そしてもっと大切なのは、ロータリアン一人ひとりが情報を発信すること、私たちはロータリーについて説明するために、いろいろな情報を入手し、適切に説明できなければなりません、そして私たちがロータリーで経験した感動的な体験について話すことも大切です。普段からコツコツとロータリアンとクラブが、地道に奉仕活動を続け、認知してもらい、好意をもってもらい、そして今後に期待してもらう、この繰り返しがロータリーブランドの向上に繋がるものと確信しております。

第3地域では、ロータリーコーディネーター（RC）、ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）、ロータリー公共イメージコーディネーター（RPIC）とそれぞれ3名の地域コーディネーター補佐で編成されていますので、是非ご活用いただければ幸いです。ロータリーは、世界中の地域社会でロータリーに対する認識を高めるために、歯車と Rotary の文字を並べて表示した新しい公式ロゴを作成しました。もっと多くの人にロータリーの活動を知ってもらうために、どんどんご利用ください、但しサイズとか色は事細かく決まっていますので My ROTARY 内のブランドリソースセンターを参照してください。私が入会したころは（1989年）「陰徳の美学」を教えられ、最初はどのようにして PR しないのか疑問に思っていたのですが、徐々に陰徳の美学に傾倒していった。そもそも広報ということあまり考えてこなかった気がしますが、あらゆる情報が溢れている今の時代こそ広報が必要ではないでしょうか。是非ロータリアン一人ひとりが強力な広報パーソンであるという自覚をもってもらい、各クラブで広報マインドを高めて奉仕活動の広報にチャレンジしましょう。



1. 2021-22 年度 寄付金結果

2021-22 年度の寄付金は約 13 億 4,600 万円でした。先月までは前年同期比約 1,000 万円の減少でしたが、6 月下旬に 1,000 万円の大口寄付があり、最終的には前年度比 0.7% 増（普通寄付金:1.1% 減、特別寄付金:1.5% 増）、約 900 万円の増加となりました。2021 年度予算は 12 億 8,000 万円を立てていましたので、無事予算も達成することができました。皆さまからの多くのご支援に厚く御礼申し上げます。2022 年度も引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。



個人平均寄付額 TOP3 【全国平均：15,971 円】

- 1 第 2590 地区：28,471 円
- 2 第 2660 地区：27,140 円
- 3 第 2770 地区：26,002 円

前年度比伸び率 TOP3

- 1 第 2500 地区：115.2%
- 2 第 2680 地区：110.4%
- 3 第 2750 地区：110.3%

2. 理事会開催報告 — 昨年度に続き 880 人採用 —

6 月 15 日、全国の理事 25 人、監事 2 人が出席し、第 34 回理事会が開催されました。昨年の 2 度の理事会はどちらもオンライン開催となりましたが、今回は 3 年ぶりに全国の理事・監事が対面で一堂に会して協議する、理事会本来の姿を取り戻すことができました。

今回の理事会では、議長の若林紀男理事長の進行の下、主な議案として、2023 学年度奨学生

採用数の件、2023 学年度募集要項の件、2022 年度事業計画案、資産運用方針案、収支予算案などが審議されました。これらの議案は各担当理事、事務局長からの提案説明を経て、すべて原案通り承認されました。これにより、2023 学年度の奨学生採用数は、前年度と同数の 880 人（枠）とすることなどが決定しました。

3. 各国の学友が安倍元首相を追悼

安倍晋三元首相が7月8日、銃撃により死去した報道を受け、ネパール米山学友会から当会宛てに追悼文が寄せられました。また、モンゴル米山学友会も訃報の翌日、在モンゴル日本大使館に献花をしてくださいました。台湾米山学友会からも、理事長と幹事長の連名で追悼メッセージをいただきました。このほか、各国の学友が安倍元首相の突然の訃報に驚き、哀悼の意を示しています。



あなたの「よねやまエピソード」大募集!!

皆さまの思い出に残る、米山奨学生/学友とのエピソードを募集いたします。選ばれた方は「ハイライトよねやま」や当会 facebook にてご紹介させていただきますので、下記詳細とエピソード例をご一読いただき、是非お気軽にご応募ください!

- ・応募先: メール (highlight@rotary-yoneyama.or.jp)
- ・件名: 【エピソード募集】タイトル
- ・内容: 米山奨学生/学友とのエピソード

※エピソードをメール本文に記載し、思い出の写真を添付してください

エピソード例

高校生の時ドラム やっていたんだけど

第2790地区 千葉
梶原 等ガバナー (千葉RC)

2003年入会の私ですが、一番の思い出はクラブでC-chordという音楽バンドを結成したこと。お披露目は私が会長を務めた2018-19年度終了直後19年夏のクラブ納涼例会で3曲(明日に架ける橋/イエスタデイ・ワンス・モア/フォルティシモ)です。

そもそもは2019年2月、地区の所属グループで開催されたインターシティーミーティング(IM)。別のクラブの方がアトラクションでバンド演奏を披露されたのを、真ん前のテーブルで拝聴していたわがクラブの向後勝弘さんが「うちの池ちゃんクラリネット吹くけど、クラブでも何か披露できるかな」。「高校生の時はこれでもドラムをやっていたんだけど」と返したのは私。

その会話が急展開。40年以上のブランクを心配しつつ、バンドを9人で結成。写真は左からベース佐久間秀一、当時のスリランカからの米山奨学生フェルナンド・

チャリット君はギター、向後勝弘ギターにドラムが私。クラリネット池田勝之、ピアノ吉田恵一、いつもはクラブの例会でピアノを弾いてくださっている石谷圭子先生がキーボード、日暮メイ子事務局員は女性ボーカル。一人だけ写っていないのが男性ボーカル清田浩義会員。

月に2回以上のペースで練習を続け、年末の忘年クリスマス家族例会にはクリスマスソング。何と云っても、クラブ有志が同じ目的を持って一つにつながるという、ロータリー本来のFellowshipが醸成されたことが一番の宝です。チャリット君や転勤で吉田恵一さんは現在、クラブを離れていますが、5年後のクラブ75周年にはまた、このメンバーでバンド披露は「お約束」。(建築設計)



40年以上のブランクもなんのその、第2790地区にC-chordあり

ロータリーの友2022年4月号から転載